



茨城ワイズメンズクラブ

2020 年度-2021 年度

7 月報 Vol.143

強調月間テーマ

ASF・RBM

THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



国際会長主題 :.....「命の川を信じよう」
 アジア太平洋地域会長主題 :.....「変化をもたらそう」
 東日本区理事主題 :.....「変化をたのしもう！」
 関東東部部長方針 :.....「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」
 茨城ワイズ会長主題 :.....「楽しくやれる方法を考えよう」

<7月例会プログラム>

と き:2020 年 7 月 3 日(金)
 19:00~21:00
 と こ ろ:筑波学園教会教育会館 1F
 ※オンライン開催の可能性あります。
 司 会:熊谷 光彦
 開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦
 ワイズソング:
 ワイズ信条:
 1、自分を愛するよう
 隣人(りんじん)を愛そう
 1、青少年のために YMCA に尽くそう
 1、世界的視野をもって
 国際親善をはかろう
 1、義務を果たしてこそ
 権利が生ずることをさとり
 1、会合には出席第一
 社会には奉仕第一を旨としよう
 今月の聖句・食前感謝:
 協 議:
 「2020-2021 年度活動計画」等
 ハッピーバースデー&
 おめでとう結婚記念日:
 ス マ イ ル:
 茨城YMCA報告:大澤 篤人
 閉 会 挨拶と点鐘:熊谷 光彦

★巻頭言★「奉仕について」

稲本 修一

私は現在4つの奉仕団体に所属しています。1つはワイズメンズ、2つ目は国際ギデオン協会、3つ目は土浦ユネスコ協会、4つ目はロータリークラブです。奉仕の原点は、神様に仕えるように人々に仕えることだと思っています。

今回はロータリークラブを紹介します。ロータリークラブの創始者は、ポールハリスというピューリタン出身のクリスチャンです。毎週1時間の例会があり、ワイズと同じように点鐘から始まりロータリーソング「奉仕の理想」を斉唱し、ニコニコボックスに誕生や結婚記念日または出産や何かいいことがあった人は、ダイヤモンドと称して1万円、金は5千円、銀は3千円をいれます。その金額だけで年間300万円ほど集まります。そのお金はすべて奉仕活動に用います。

ロータリーには37歳の時に入会して早35年、会員が90人近くいる土浦南ロータリークラブでは10年前に会長を、6年前には地区(茨城県内55クラブ2000人)のガバナー補佐、前年度まで地区の青少年奉仕総括委員長を2年務めました。

そして今回、地区ガバナーの招聘がありました。数年前からそんな動きがありましたが、私は年間200日も会社を空ける、そんな大役は絶対出来ないと予防線を張っていました。先日2人のガバナー経験者から呼び出され、2年後是非やってくれとのこと、今回のコロナの件が無ければ、気が進まないが引き受けざるを得ないと内心は思っていました、妻も賛成ではないし、会社を継続させることが喫緊の課題なので正式にお断りしました。ロータリーには「嫌というなよロータリー」という常套句があります。奉仕の機会を拒絶した後味の悪さは残りますが、神様はこれだけは許して下さると願っています。

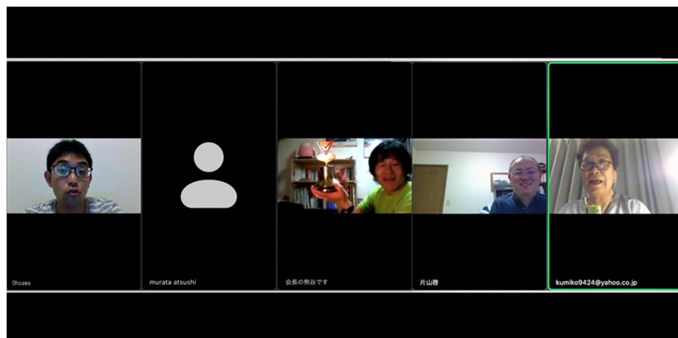
☆今月の聖句☆

そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。

(ローマの信徒への手紙 5章 3~5節)

【茨城クラブ 6月例会報告】

6月例会は、前月に引き続き zoom によるオンラインでの開催となりました。ワイズメン 5 名ならびに連絡主事の大澤篤人さん、茨城 YMCA スタッフの大澤秋太郎さんが集いました(ちなみに本稿執筆者である書記の村田は仕事が長引き、帰宅途中の電車内から iPhone を用いての参加となりました)。



今回は久しぶりに卓話もたれ、片山ワイズより「地盤環境学の観点からの地下水制御対策の評価」と題して、福島第一原子力発電所の廃炉過程における地下水の状況ならびに、処理水の貯蔵と処分、そして今後の見通しについての講義をしていただきました。資料はパワ



ーポイントスライド 80 枚に及び、かなり専門的な内容ではありましたが、私たちが理解しやすいようにできる限り平易に説明していただきました。困難な事態にいかにか科学的なアプローチをもって冷静に対処するかという思考法、それとともに風評被害恐怖の払拭がいかにか大きな難題であるか、といったことを学ぶことができました。今回のコロナ禍に向き合うヒントにもなったのではないかと感じます。とあるメンバーは「コロナが軽く思えてきた」、他のメンバーも「(テーマが)重い・・・」といったやりとりも・・・。

卓話の後は近況報告を兼ねた雑談となりました。その中で、連絡主事の大澤さんが8月に第二子誕生予定であるという、このさなかでおめでたい報告もあり、いつもどおり和やかな会となりました。

6月例会(オンライン開催)出席状況

会員:5名(熊谷、稲本、片山、村田、大澤)、メネット:0名、スタッフ:1名(大澤)、リーダー:0名、ゲスト:0名、出席総数数:6名、在籍者会員数:9名、会員出席率:56%

【会計・事務報告】

会計報告(2019-2020 年度決算)

費目	収入	支出	備考
前年度繰越金	125,895		
会費	272,000		
スマイル・食事代	36,686		
例会食事材料費		16,000	
懇親会	5,000	4,318	5名参加
まつりつくば	20,000	3,000	
卓話講師謝礼		15,000	3名
部費・分担金等		62,500	
区費・分担金等		143,200	
各種献金		51,525	
振込手数料		1,374	
バザー	30,750	9,000	
チャリティーラン		38,000	チームスポンサー等
記念品		28,080	名入りボールペン
参加支援金		40,500	大会等
次年度繰越金		77,834	
合計	490,331	490,331	

ワイズメンのみなさまにおかれましては、新年度も引き続き会費の前納について、ご協力を賜りたく思います。

訃報 林 宏さん

茨城ワイズメンズクラブ創設メンバーの林 宏さんが6月22日、天に召されました。林さんは茨城クラブの初代会長を務められた方でもあります。ここにご冥福をお祈りいたします。

ワイズメンズクラブの最大の目的は『YMCAの活動を支援する』ことです。その1つとしてYMCA維持会員になっていただいております。YMCAは会員団体であり、会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。YMCA維持会員とは、そのようなYMCAの使命に賛同し、その運動に主体的に参与し、YMCAの継続と発展に寄与する会員です。維持会員登録をご希望の方は茨城YMCA大澤(茨城ワイズメンズクラブ連絡主事)までご連絡下さい。

【茨城 YMCA 報告】

6月の報告

- 7日 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」@Zoom
- 10日 小学校通常授業開始
- 14日 中高生デイキャンプクラブ「ユースクラブ」
@Zoom
- 16日 国際事業部ミーティング
- 17日 職員礼拝/職員会@大曾根児童館
- 18日 全国アフタースクール懇話会@Zoom
- 19日 チャリティーラン担当者会
- 20日 日本 YMCA 同盟協議会@Zoom
- 21日 ウェルネス事業運営委員会
- 22日 リソースモビライゼーションチームミーティング
- 23日 全国アフタースクール懇話会
- 25日 牛久センター職員礼拝/職員会
- 27日 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」
- 27日 北関東 YMCA リーダー交流会

※6月に予定していた茨城 YMCA 総会は書面評決となりました。

(連絡主事 大澤)

7月の予定

- 6日 早天祈祷会
- 11日 未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」
@Zoom
- 18日 障がい児者自立支援活動「たんぼぼクラブ」

※7月に予定していた音楽祭は延期となりました。

(連絡主事 大澤)

インターナショナルチャリティーラン 2020 準備

今年度の大会につきましては、第1回実行委員会開催の前に、現在の状況をふまえリモート開催の可能性を探るための事前検討会が行われました(6/19)。

リモート開催について以下のようなスタイルの単独あるいは組み合わせ実施について委員たちが意見を交わしました。

- 同時開催型: これまでの大会と同様にすべての参加者が大会当日に目標タイムを申告し、それぞれの場所で同時にスタートする。
- 記録申告型: 目標タイムを申告し、それぞれの場所それぞれの日時に走った記録を大会当日に申告する。
- 記録達成型: 大会当日までに参加者がそれぞれの場所でそれぞれの日時に走り、あらかじめ設定した目標距離の達成を目指す。
- 代表型: 大会当日にあらかじめ決められた少数のチームのみが走り、ほかの参加者は自身の応援するチームのタイムを予測する。

また、リモート実施における参加区分と参加費、参加

賞やラッフル賞品に関する注意点等についての意見も出されました。

実際に開催するかどうかはまだ確定していませんが、委員たちはみな、開催を目指す方向で様々な検討を開始しております。

(実行委員長 熊谷)

【編集後記】

今月もまた、自分自身の体調の不安定さと、ネットカフェという密空間での作業に怖気付き、熊谷会長に編集作業をお願いしてしまいました。重ね重ねありがとうございます。

気付けばワイズも6年目、書記は5年目に突入します。はじめはなにがなんだかわからず見様見真似で取り組んでいたブリテン作成も、最近は他のクラブのものを見て良いものを取り入れる余裕も少しながら出てきました。先月のブリテンのなかでは、山手クラブの解散特別号が特に心に残り、しみじみと拝読させていただきました。クラブの解散は寂しいことではあります。茨城クラブは会員の減少にこそ直面しているものの、幸いなことにまだまだ活動を継続することができそうです。派手さはなくとも、これからも地道に、また1年活動を継続していきたいと思います。

(書記 村田)

努力はあとで必ず役に立つといえます。ずっと昔、ある大学の職業系授業の非常勤講師を依頼されて5年ほどやらせていただきました。週に2コマ、1コマ目は本(Book)の歴史や構造や作り方についての授業、2コマ目はDTPの実習でした。DTPという語は「Desktop publishing」の略で、PCで編集・割り付け等をし、プリンタで印刷して本をつくるという意味です。その大学のPC教室の学生用PCがWindows2000にWord2002、そしてA4モノクロレーザープリンタだったため、2コマ目ではその環境で学生たちに自分で書いた原稿をもとに本を作らせました(彼らは作家と編集者と印刷屋さんの一人三役、製本のみ外注)。そのときWordの機能を徹底的に調べて授業に臨んだことが、今回のブリテンの編集作業にとっても役立っています。

(会長 熊谷)

